

福山コンサル

# 守谷市と包括連携協定

## グリーンインフラ推進

福山コンサルタント（福島宏治社長）は28日、茨城県守谷市との包括連携協力協定を締結した。同社が自治体とのグリーンインフラ（GI）を

中心とする連携協定を締結するのは今回が初めて。GI推進を目指す、市内の自然を生かしたまちづくりに取り組む。福山コンサルタントは2017年度中にワークショップ

守谷市を10年、20年先にも自然の魅力ある街にしたい」と期待を語った。

これを受け福島社長は「豊かな自然を賢く使うにはどうしたら良いのか。市民の皆さんを巻き込む形でイノベーションを創出し、短期的・中長期的な視点のコンサルティンクで自然を次の世代に受け渡していきたい」と意気込みを

述べた。具体的な施策は今後のワークショップで決定する予定だが、重点課題には住民の高齢化、子育て環境の充実、都市間競争力強化などを掲げた。

今後、スマートフォンを活用したイベント企画、シンボリックなグリーンインフラの拠点整備、緑地空間の多機能化、水辺空間の整備、都市型生活に対応した農地開発などに取り組む方針だ。



左から松丸市長（左）と福島社長  
福島社長は「コンパクトに象徴される『グリーンインフラ』とGIのハイブリッドな整備を進め、豊かな自然を生かした地域活性化や課題解決に取り組みたい」という。